

「インターネット利用に関する調査結果 2010」

2010.9.10

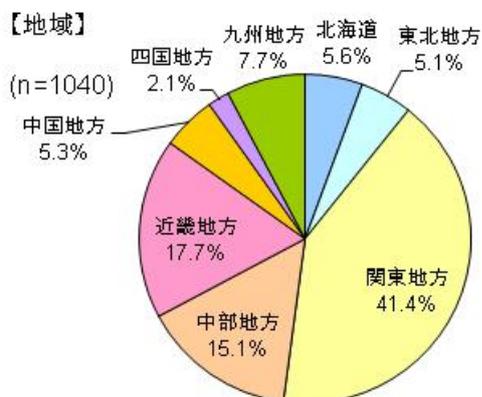
| | |
|------|-------------------------|
| ■ 目次 | 1. 調査概要 |
| | 2. 全体傾向 |
| | 3. 家庭におけるインターネット利用状況 |
| | 4. インターネット利用に関わるトラブル・被害 |
| | 5. フィルタリング認知状況 |

1. 調査概要

| | |
|------|--------------------------------|
| 調査対象 | インターネットを利用する20代～60代の男女(1,040人) |
| 調査方法 | インターネット上の特設サイトによるアンケート調査 |
| 調査期間 | 2010年5月11日～5月12日 |

| 年 | 20代 | | 30代 | | 40代 | | 50代 | | 60代 | |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 有 | 無 | 有 | 無 | 有 | 無 | 有 | 無 | 有 | 無 |
| 男性 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 |
| 女性 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 | 52 |
| 有効サンプル | 104 | 104 | 104 | 104 | 104 | 104 | 104 | 104 | 104 | 104 |

*本調査における「子ども」とは回答者と同居する18歳以下の子どもを指します。

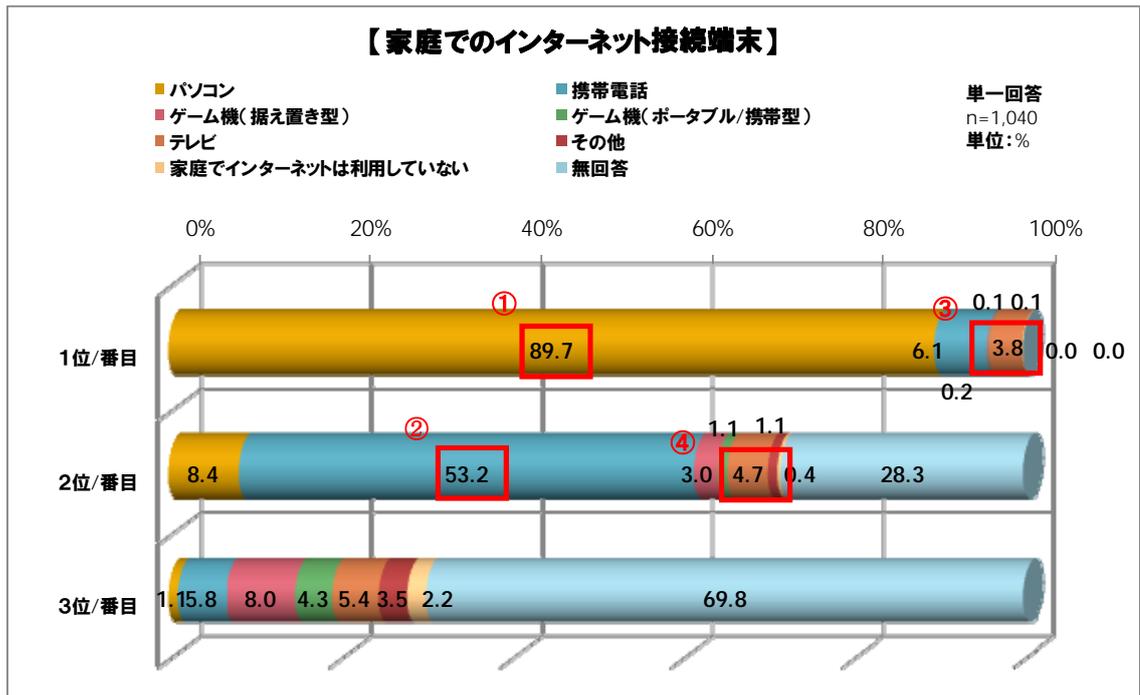


2. 家庭におけるインターネット利用状況

2-(1) 「現在、ご家庭で、インターネットをご利用の端末を3つ、利用頻度の高い順に選択ください。」

- ◆ 回答者の 89.7%(下図①)が、家庭において最も利用するインターネット接続端末として「パソコン」、2 番目によく利用する端末としては「携帯電話」(53.2%、下図②)を挙げています。
- ◆ 最も利用する端末として 3.8%(下図③)、2 番目に利用する端末として 4.7%(下図④)程度ではありますが、「テレビ」が利用端末の上位にランクインされています。これは、インターネット対応型テレビの普及に伴う傾向だと推察されます。

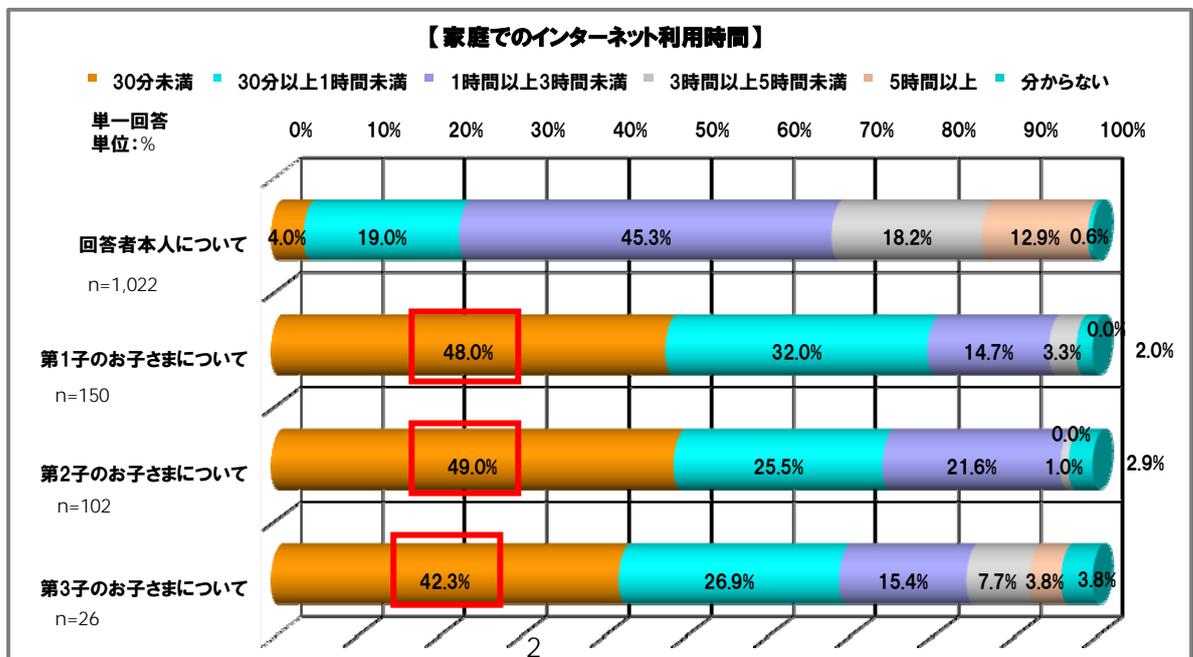
- ・順位毎単一回答
- ・全員への質問(有効回答 1,040 人)



2-(2) 「ご家庭での1日当たりのインターネット利用時間を選択ください。」

- ◆ 回答者本人については、「1 時間以上 3 時間未満」の利用が 45.3%を占める結果となりました。
- ◆ お子さまについてはほぼ半数が「30 分未満」の利用となっています。

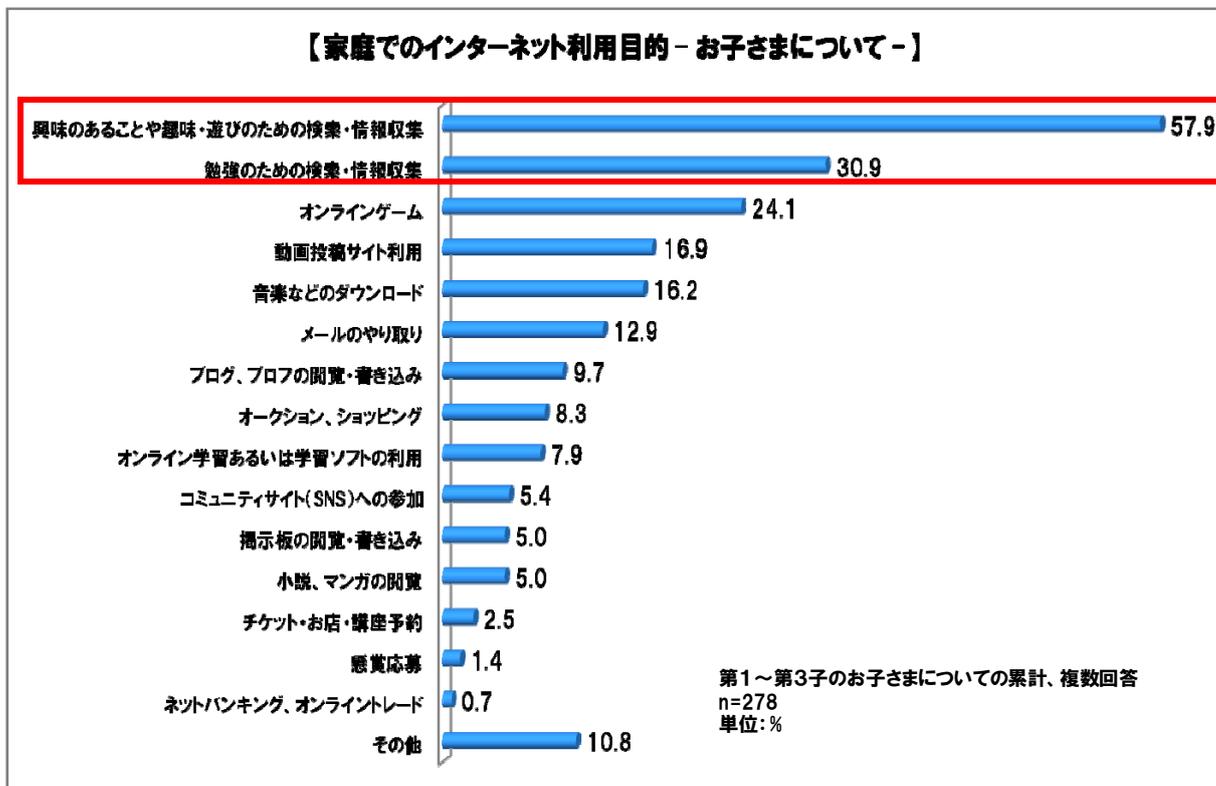
- ・単一回答
- ・回答者本人については全員への質問、お子さまについては子ども有男性/女性への質問



2-(3) 「ご家庭でのお子さまのインターネットの利用目的を選択ください。」

- ◆ 「興味のあることや趣味・遊びのための検索・情報収集」が 57.9%を占める結果となりました。
- ◆ 次いで「勉強のための検索・情報収集」が 30.9%となりました。
- ◆ 目的はさまざまでも、「検索・情報収集」という行動が多く行われていることがわかります。

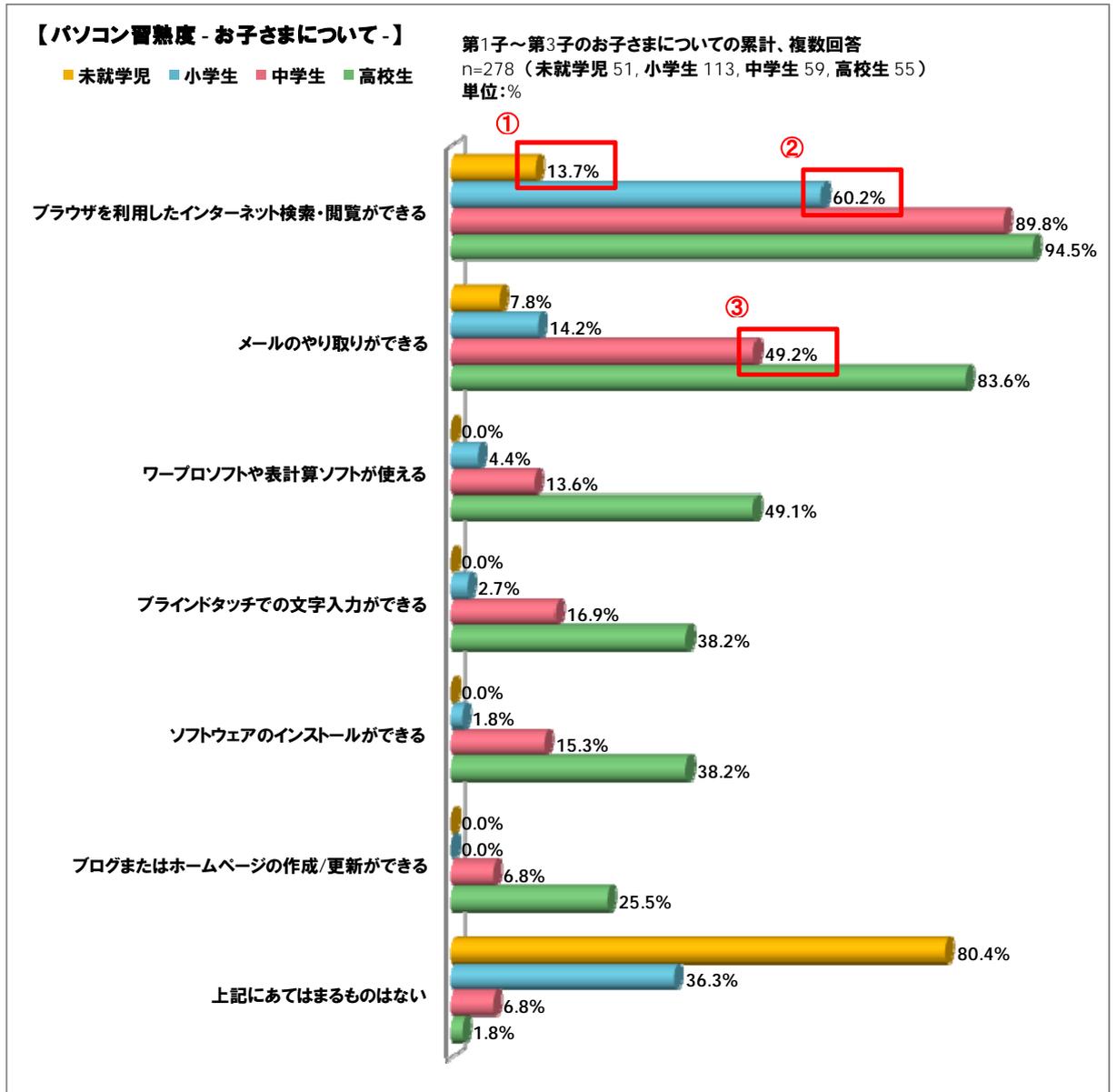
- ・複数回答
- ・子ども有男性/女性への質問



2-(4) 「パソコンの習熟度について、当てはまるものを選択ください。」

- ◆ パソコンでお子さまができることとして 1 位となった「インターネット検索・閲覧」については、未就学児でも 13.7%、小学生の 60.2%が行っていることがわかります。
- ◆ 2 位の「メールのやり取り」は中学生以上の子どもが積極的に行う傾向が見てとれます。

- ・複数回答
- ・子ども有男性/女性への質問



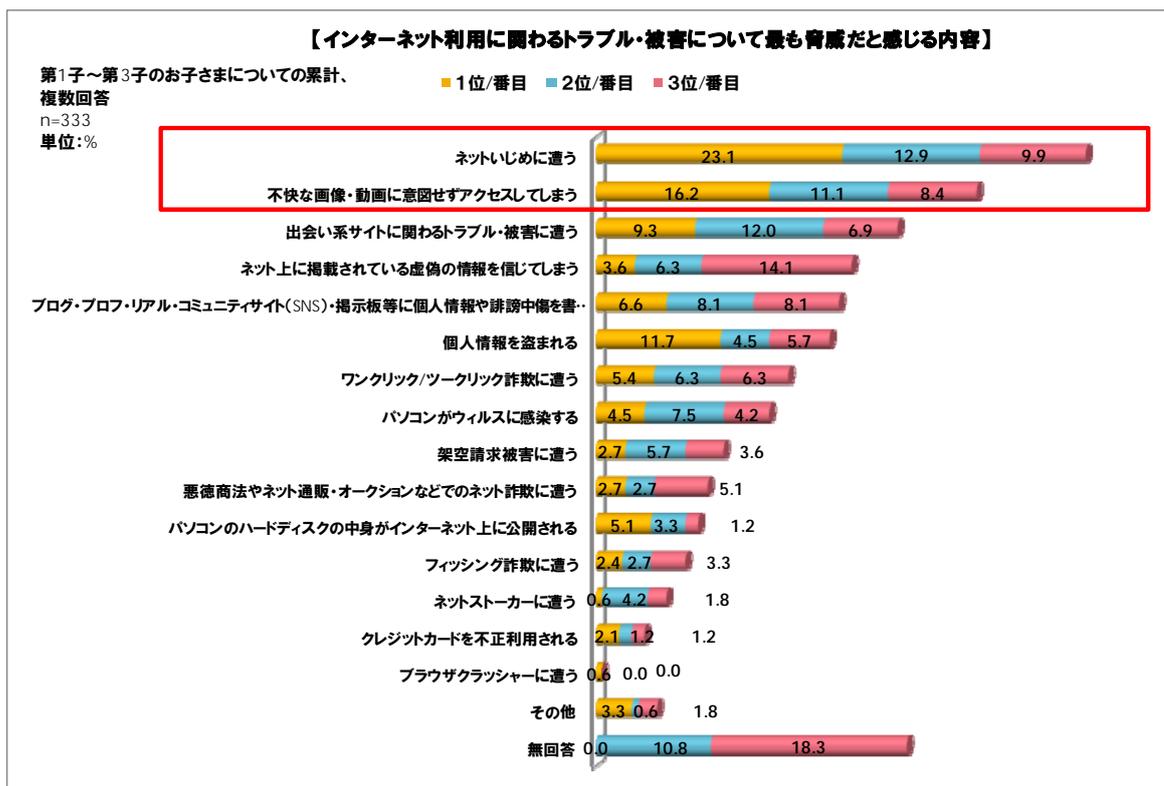
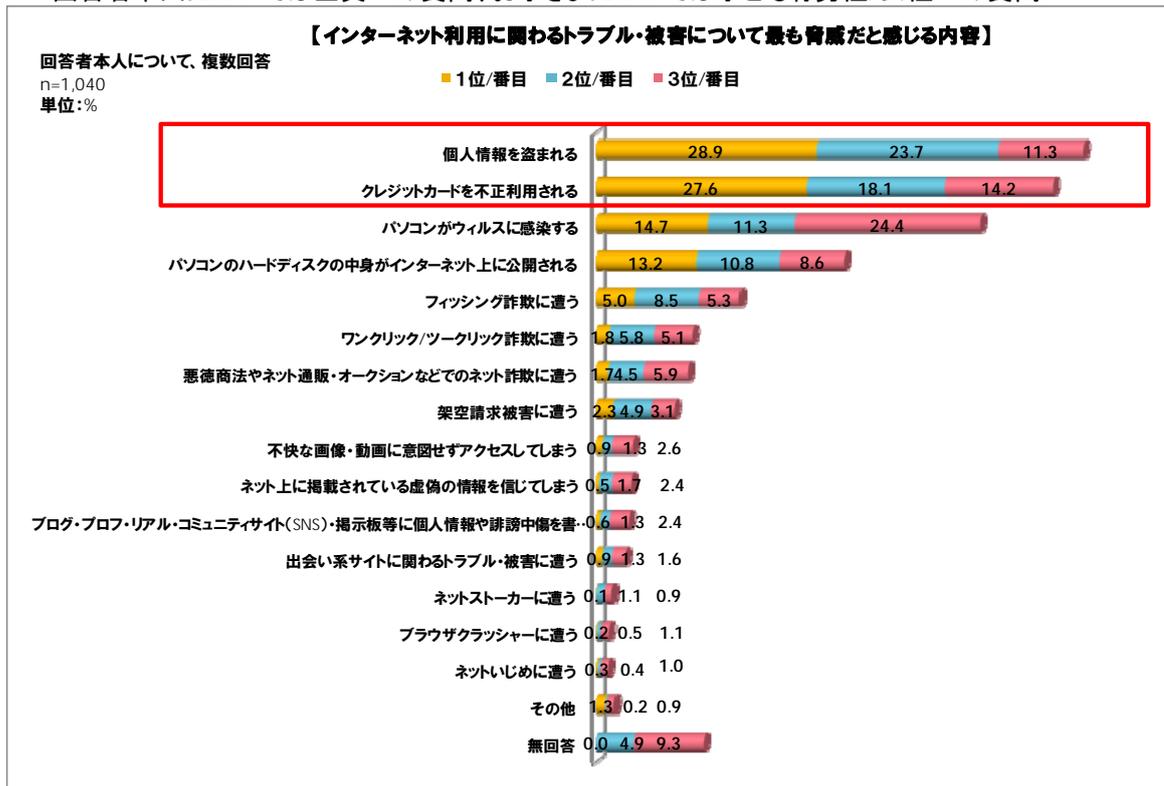
3. インターネット利用に関わるトラブル・被害

3-(1) 「インターネット利用に関わるトラブル・被害について最も脅威だと思う順に3つ選択ください。」

- ◆ 回答者本人については、「個人情報盗まれる」(28.9%)、「クレジットカードを不正利用される」(27.6%)が1位・2位を占める結果となりました。
- ◆ お子さまについては、「ネットいじめに遭う」(23.1%)、「不快な画像・動画に意図せずアクセス」(16.2%)が1位・2位を占める結果となりました。
- ◆ 実被害に発展する可能性のあるインターネット上のトラブルが脅威と受け止められている傾向が見てとれます。

・複数回答

・回答者本人については全員への質問、お子さまについては子ども有男性/女性への質問



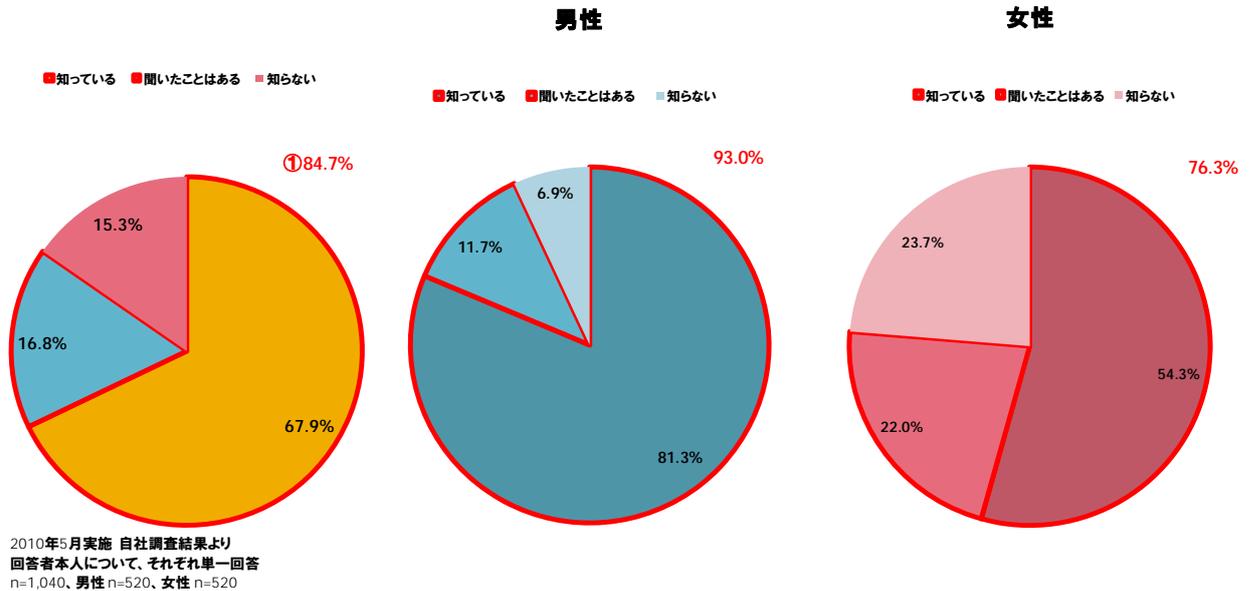
4. フィルタリング認知状況

4-(1) 「パソコン用のセキュリティ関連製品／サービスに関して、ご家庭での認知状況」

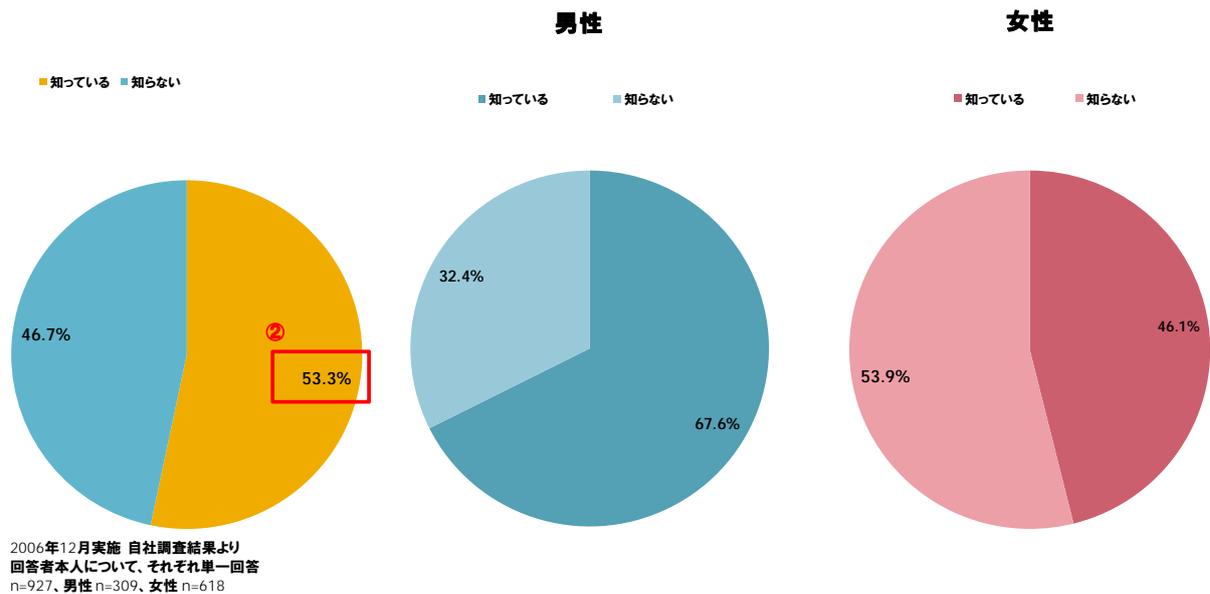
- ◆ フィルタリングソフト/サービスの認知率は 84.7% (下図①) という結果となりました。
- ◆ 2006 年に弊社にて実施した調査における同様の質問に対する結果 (認知率 53.3% 下図②) と比べると、大幅な向上を示す結果となりました。
- ◆ また、性別で見ると、2010 年・2006 年自社調査とも男性の認知率の方が高い結果となりました。

- ・単一回答
- ・全員への質問

【フィルタリングソフト/サービスの家庭における認知状況】



【フィルタリングソフト/サービスの家庭における認知状況】



4-(2) 「フィルタリングソフト/サービスをご家庭で利用されている理由を選択ください。」

- ◆ フィルタリングソフト/サービスを「現在利用している」とした回答者の利用理由は、利用対象者(子ども/子ども以外)に関わらず、1位・2位とも同じと言う結果となりました。
- ◆ 従来子どものためのものと言うイメージの強いフィルタリングソフト/サービスですが、年々巧妙化するインターネット発の犯罪や、それに対して高まるインターネットトラブル・被害対策意識により、幅広い層での利用が広がりつつあることを示す結果となりました。

・複数回答

・フィルタリングソフト/サービスを「現在利用している」とした回答者への質問

